

令和4年度に取り組んだ内容

全4回 「高校生と大人の対話の場～出会って対話して生き抜く力を蓄えよう～」

高校生と大人が同じテーマで対話することを通して、地域や自分自身の将来について考えました。

①出会うつながろう、自分を深めよう
「対話とは何か」「地域リーダーで大切にしたいこと」などについて、市民ファシリテーターから話がありました。また、最近気になっていることについて話し合いました。

②語 ring ～卒業生の話を聞いてみよう～
地域リーダーの卒業生、大学生、社会人が参加して高校生と対話を行いました。卒業生などの話を聞いて、現在の状況や活動などを共有し、今後の進路について考えました。



▲市の魅力づくりのための発表

4つの活動を通して、対話の力、内面の変化、つながりを意識することで会話・対話・議論の違いを学び、コミュニケーション能力が上達しました。



▲チームビルディング研修の様子

③地域で活躍する大人と対話しよう
市内企業や地域リーダーの卒業生などが参加し、高校生と対話を行いました。高校生が決めたテーマ「子どもと大人どちらが良い?」「牧之原市の魅力」などについて、意見を共有しました。

④市民活動から地域の未来を考えよう
菊川市市民協働センターの笠原活世さんらが講師となり、菊川市での活動を紹介してくれました。また、チームビルディング研修を行い、グループで活動する時の大切なことを学びました。

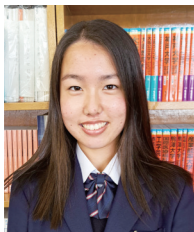


運営スタッフ会議

高校生がファシリテーターと一緒に企画、運営を実施しました。参加者に投げかける問いや会場の場づくりについて考え、運営側の視点を経験しました。

◀高校生がファシリテーターに挑戦

参加者の声



榛原高校2年
片瀬莉奈さん

私たちの世代が動き出す必要がある

幅広い年齢の皆さんと交流を深め、さまざまな物事の捉え方を知ることができ、とても勉強になりました。また、初対面の人と一つの目標に向かって協力することを経験できました。

これらを通して、私たちの世代が地域の問題について話し合い、実際に動き出す必要があると感じました。

進路に対して視野を広く持ちたい

参加した活動を通して、「視野を広げることの大切さ」を学びました。お話を聞いた人には、希望していた進路や職業とは違う道を選択した人もいましたが、その人たちは「今がとても充実している」という共通点がありました。

これからは進路に対して視野を広く持ち、時には楽観的になりながら、自分の将来に今回の経験をつなげていきたいと思えます。



相良高校3年
佐々木芽衣さん



「対話」から
「未来の行動」につなげよう

地域リーダー育成プロジェクト

問い合わせ 地域振興課 河原崎美幸 ☎0053

市では、高校や地域と連携、協働し、地域を支える人材を育てることを目的に、「地域リーダー育成プロジェクト」を実施しています。この事業は平成27年度から実施し、地域の高校生や大学生、大人と一緒に対話や活動を行っています。

令和4年度は、高校生が地域で活躍する大人と、社会や地域について対話することを通して、自分にできることを考え、それぞれの将来につなげる機会となりました。

今年度も高校生の皆さんをはじめ、どなたでも参加できます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。開催情報は、市ホームページなどでお知らせします。

令和4年度に取り組んだ内容

全2回 ファシリテーション研修「暮らしに役立つファシリテーション」

【講師】鈴木まり子氏(特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会 フェロー)

日々の暮らしでの対話を意識しながら、話し合いの場を円滑に進めるスキルの1つである「ファシリテーション」の基本や効果について学びました。

①地域づくりについて

講師から「話し合いにファシリテーションを用いることで参加者の当事者意識が高まり、話し合いの中で決めたことが自分ごとになる」などの話がありました。それを踏まえて、参加者は地域の中にある話し合いを行いました。

②防災について

防災に関することや被災地で行われている話し合いについて、グループに分かれて話し合いました。参加者からは、「意見を聞き、受け止めることが大切だと分かった」などの感想がありました。



◀さまざまな人が集まり



◀卒業生グラフィッカーも活躍